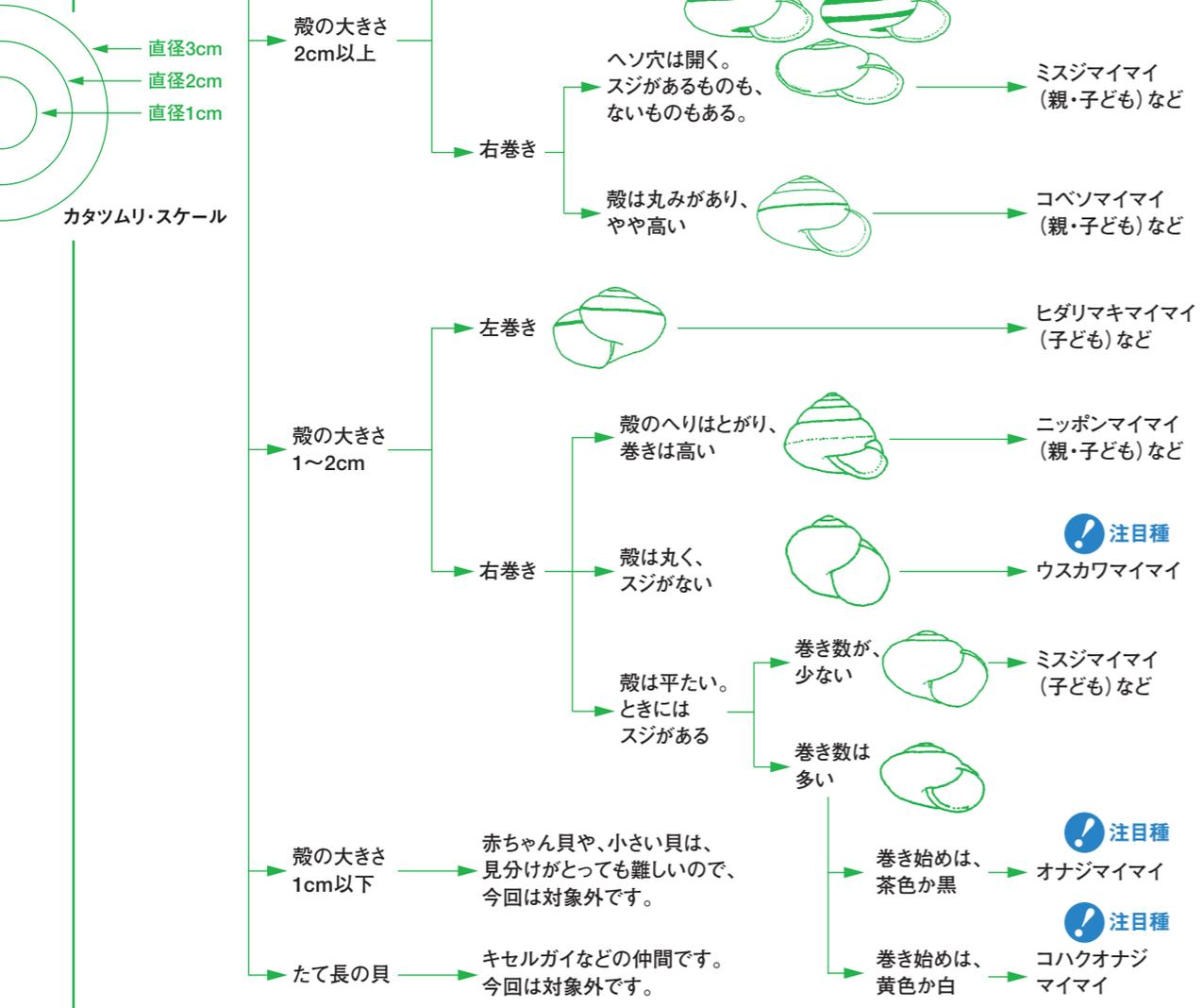


カタツムリの見分け方

自然しらべ
2024

START!



注目種の分布

	北海道	本州~九州	小笠原	琉球列島
ウスカワマイマイ	(南部)	●	(局部的)	●
オナジマイマイ	(局部的)	●	●	(都市部)
コハクオナジマイマイ		(局部的)		
間違えやすい種	エゾマイマイ			タメトモマイマイ パンダナマイマイ



カタツムリを見分けるポイント

カタツムリは、体の成長と同時に殻も巻きながら大きくなっていきます。(ヤドカリは、体が大きくなったら、体に合う殻に取り替えます。)カタツムリを見分けるには、殻に注目してみましょう。

ポイントは、①大きさ ②巻き方 ③形 ④色 ⑤もよう(スジの入り方)です。

日本には700種類くらいのカタツムリがすんでいるといわれていますが、大人になっても小さいままの種類は、見分けるのがとてもたいへん。そこで、今回は1センチメートルよりも大きいカタツムリに注目しましょう。注目の3種は、日本各地でみられ、人家の近くにすんでいるものです。



ウスカワマイマイ
殻が丸く、スジのないのが特徴。体の色が透けて見え、真っ黒だったり、斑点があるように見える。林の中には住まない。

注目種

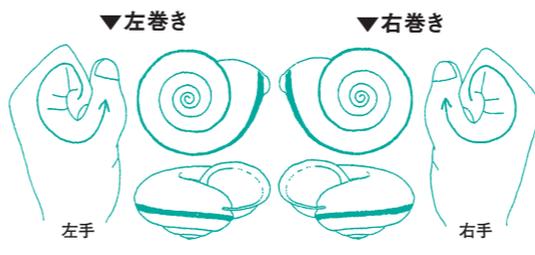


オナジマイマイ(上)
コハクオナジマイマイ(下)
殻が平たく、ときに角張るのが特徴。オナジマイマイの体は茶色だが、コハクオナジマイマイは黄色か白。オナジマイマイは外来種で、コハクオナジマイマイは国内外来種。

注目種

カタツムリ豆知識

殻の巻き方は、種類によって決まっているので、巻き方は重要なチェックポイント。殻が時計回りに成長するのが「右巻き」です。殻の右巻き・左巻きがわからなくなったときには、手をにぎってみましょう。



注意！手を洗おう！

カタツムリの仲間には、「広東住血線虫」という線虫の中間宿主(運び屋)になるものがあります。そのため、さわると危険と考える人がいますが、皮膚から入ることはありません。ただし雑菌が手につくことがあるので、カタツムリをさわったら、不用意に手を口に持っていかないようにし、せっけんで手を洗いましょう。またカタツムリを入れた容器を洗った水は台所で流さないようにしましょう。

しらべた場所が複数あるときは、1カ所ごとにお送りください。

複数しらべたい方には用紙をお送りしますのでご連絡ください(連絡先は裏面)。お手持ちのはがきに記入して下さってもけっこうです。メールも歓迎。見つけたカタツムリ写真も、お待ちしております。

しらべた人・グループのお名前

しらべた日時・場所

日時	午前・午後	天気
年 月 日	時 分	
場所		
都道府県名	市町村名	場所名

どんなカタツムリを見つけましたか？

●簡単に描いてください。

大きさ: 殻の直径

cm くらい

なまえ

見つけた数 (匹)

カタツムリはどこにいましたか？(○をつけてください)



●そのほか気がついたこと。

ご参加ありがとうございました。